

日本紙工機械、既存マシンを最新鋭化 革新的技術のリノベーショングルア紹介

日本紙工機械グループ(本社工場・茨城県北相馬郡利根町早尾2-1、電話0297-61-7117)は、7月25日、26日の2日間、老朽化グルアを独自技術により修理、修復し新マシン同様に機能を再生、加えて革新的な改造を施すことで最新鋭機種なみの生産性を付加する「リノベーショングルア1400」の内覧会を本社工場で開催、段メーカーおよびボックスメーカーなど2日間で約50社余が見学を訪れ、独自の修理・修復技術と、革新的な改造を施し最新鋭機化したりノベーショングルアへの関心の高さを窺わせた。

同社が内覧会で紹介した「リノベーショングルア1400」は、既に得意先で26年間余もフル稼働した中古グルアを独自技術により修理、修復し新マシン同様の機能に再生、更に革新的なりノベーション改造技術により最新機能や最新管理システムを新たに搭載、毎分400m対応の最新鋭機種なみの生産性を持つリノベーショングルアとして再生させる革新的な改造技術。堅牢かつ耐久性抜群の機



最新鋭機なみのリノベーショングルア

械フレームをそのまま使用し、消耗部品の交換・修理、加えて生産性と品質向上に直結する主要システムを改造し、中古グルアを新マシン同様の状態に再生、更に最新機能や最新システムなど最先端機能を装備し、20〜30年間も稼働した中古グルアを低コストで最新鋭機にリノベーションする。またリノベーショングルアは新マシン同様に機能を再生するだけではなく、生産内容に併せて機能を最適化、マイクロコンピュータ装置なども最新システムに更新する事で生産性を低コストで向上できるなどの特長を持つ。

実演稼働したりノベーショングルアは、26年前の中古グルアを毎分400m対応の最新鋭機に再生したもので、内覧会ではBフルートの4コーナーケース、ワンタッチケースの自動切り替え生産を実演した。最新鋭機として再生したりノベーショングルア1400は、まず給紙部では、給紙駆動をクラッチ式からインバータ化に変更、スピード調整が数値化でき詳細なセットを可能としたほか、シャッターの紙押さえを機械式からエアシリンダ式に変更する事で、シート表面への傷発生を解消し品質向上を実現、メンテナンスも容易とした。また同時更新ならバックフィンガー制御に追加可能なサイレントフックを廉価で装備。加えてセット替えの度に手動で昇降していた折り込みフックを電動昇降に変更、フオールディングベルトの駆動には独立インバータ化を取り入れ、最新鋭機並のセット時間短縮も実現した。一方、製罐品質に直結する矯正部の浮上防止板をウエイト式からエアシリンダ式に変更、稼働中でも押え圧を微調整でき停止時間を短縮。このほか周辺装置ではリモコンの小型無線化、コンベア出口側への増速・減速スイッチ設置など、操作性も大幅に改善するなど、20〜30年を経過した中古グルアでも革新的な改造技術により、最新鋭のリノベーショングルアとして生まれ変わる事が可能となった。